

# 学校だより

平成 22 年 10 月号 NO. 2

6 年「全国学力・学習状況調査」（平成 22 年 4 月 20 日実施）の結果に基づく指導方法の改善についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査正答率 (%)

	国 語 A	国 語 B	算 数 A	算 数 B
草 津 小	84.0	66.4	76.8	57.3
全 国	83.3	77.8	74.2	49.3

国語では、「描写に着目しながら登場人物の相互関係をとらえる」「文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く」「目的や意図に応じて情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明する」に課題がありました。そこで、

- (1) 文学的な文章を授業の中で計画的に取り上げ指導していく。
- (2) 国語科の学習のみならず、各教科などの学習においても意図的に指導する。
- (3) 目的に応じてさまざまな資料や情報の中から適切なものを取り上げる。

といったことを重点的に取り組んでいこうと考えています。

算数では、「基本的な平面図形の定義や性質についての理解」「示された図形を観察して条件を基に、筋道を立てて考え、数学的に表現する力」に課題がありました。そこで、

- (1) 作業的、体験的な活動を通して基本的な平面図形の性質を見だし、理解できるように、また、定義や性質を説明できるように指導する。
- (2) 面積の保存性を理解できるようにする。
- (3) 基本的な平面図形をかいたり、作ったりする場面で、辺を表す言葉や長さ、角の大きさ、図形の名称を用いて図形を言葉で表現し、伝え合う活動を取り入れる。

といったことを継続的に取り組んでいこうと考えています。

## 平成 22 年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

### 広島市立草津小学校

#### 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。
- (2) そのような取り組みを通して，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

#### 2 調査の実施日 平成 22 年 4 月 20 日（火）

#### 3 調査内容

##### (1) 教科に関する調査（国語，算数）

主として「知識」に関する課題  
身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容  
実生活において不可欠であり，常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用」に関する課題  
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力  
様々な課題解決のための構想を立て実践し，評価・改善する力 など

##### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査  
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査  
(例)国語の勉強は好きですか。授業の内容はどの程度分かりますか。一日にテレビを見る時間，読書時間，勉強時間の状況など

学校に対する調査  
指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査  
(例)学力向上や学習の定着に向けた取組，習熟度別，少人数指導，教育の情報化，教員研修，家庭地域との連携の状況など

#### 4 各教科の平均正答率

##### 【小学校】

	全国	昨年	今年		全国	昨年	今年
国語 A	83.3%	71.9%	84.0%	算数 A	74.2%	81.4%	76.8%
国語 B	77.8%	52.1%	66.4%	算数 B	49.3%	59.0%	57.3%